衛生情報牛　2026－5

鹿児島県日置市の農場で
ランピースキン病が発生しました！

令和8年11月5日に鹿児島県日置市の肉用牛農場でランピースキン病の発生がありました。鹿児島県では初めての発生事例です。

ランピースキン病とは

主に蚊、ハエ、ダニ等の媒介、感染牛の移動により感染が拡大。死亡率が一般的に低いものの、感染した牛は全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

令和8年7月1日より家畜伝染病予防法が改正され、家畜伝染病に追加、**患畜または疑似患畜は殺処分**を行わなければなりません。









農林水産省「ランピースキン病侵入防止リーフレット」より引用

農場での対策

①海外からの物品は原則農場内に持ち込まない。
やむを得ず持ち込む際には洗浄・消毒を実施。
②殺虫剤の散布等を実施。
③血液・体液が付着する物品は1頭ごとに交換・消毒。

異状な家畜を発見したら、すぐに連絡をお願いします。

問い合わせ先：高知県西部家畜保健衛生所
電話：0880-24-0050
夜間・休日：
080-1999-8324（旧高南支所の携帯番号）
080-1999-5783（旧椙原支所の携帯番号）
090-8978-6474（幡多支所の携帯番号）